

# インプラント治療のお話 part3

その3

## インプラント治療の前に 【ホームケアも大事!!】

科においては、プロフェッショナルケアによって除去されたバイオフィルムを自らの管理の下、ブラッシングやデンタルフロス、補助的清掃用具を用いて歯面についてプラーク(バイオフィルム)を初期の段階で除去することです。古くなったバイオフィルムはお家でのブラッシングでは除去しきれないと説明しました。逆に言えばバイオフィルムをプロフェッショナルケアにより除去すれば、その後の初期段階ではご家庭のブラッシングがかなり有効であると言い換えられます。

前回は虫歯、歯周病にならない予防処置が重要であるというお話と、その実践のためにプロフェッショナルケアとセルフケアを適切に行う必要があるというお話をしました。今回はセルフケアについて説明をしたいと思っております。

セルフケアは一般的に「自らが、自分の責任のもとに健康のためになる習慣を取り入れ、自己管理を実践すること」と考えられています。歯

いるんな細菌が集まって来ます。特に悪玉菌(歯周病や虫歯の原因菌)としては、暖かく栄養も豊富で仲間をどんどん増やすには絶好の環境なのです。仲間がどんどん増えるこの細菌たちは、自分たちの環境をより強固に安定させるのにタッグを組んでバイオフィルムになります。こうなってしまうと、うがいでは当然除去できないですし、薬も効かないし歯磨きですら除去できなくなります。こうなると悪玉菌たちはやりたい放題なので、虫歯を作ったり、毒素を産生して歯肉や歯槽骨を傷めつけたりして歯周病を引き起こしてしまつのです。この段階でバイオフィルムを除去するには、歯磨きではだめですので、



伊藤 創造 (いとう そうぞう)

岩手医科大学歯学部卒業、大学院でインプラントに関する論文で博士号を取得。その後、岩手医科大学歯科補綴学第二講座の講師として臨床等で活躍。1991年にトヨタ大学に留学。2014年におゆみ野インプラントセンターを開設。岩手医科大学臨床教授、日本補綴歯科学会・指導医、日本顎顔面補綴学会・認定医、日本歯科審美学会・認定医。国際口腔インプラント協会(IDIA)・Mastership。  
おゆみ野総合歯科クリニック  
☎043-300-3939

プロフェッショナルケアによる専門用具での除去が必要になります。だからこそ、この段階になる前の初期段階で、ご家庭でのセルフケアにより強固な些になる前のプラークを除去することが大事なのです。そのためにはちよつと大変ですが、健康のためになる習慣を取り入れ、自己管理を実践することが必要になるのです。プロフェッショナルケアとホームケアが車の両輪に例えられるのがおわかりいただけたと思います。